

・海波から身を守る。一个南海トラフ地震臨時情報~

三重県では、1944年に昭和東南海地震が発生した12月7日を、 「みえ地震・津波対策の日」と定めています。

前回の地震から76年が経過する中、三重県では、現在も含めて近い 将来、南海トラフ地震の発生が危惧されています。

いつ起こるかわからない地震に対して、あらためて、自らの備えを確認 しておきましょう。

南海トラフ地震とは

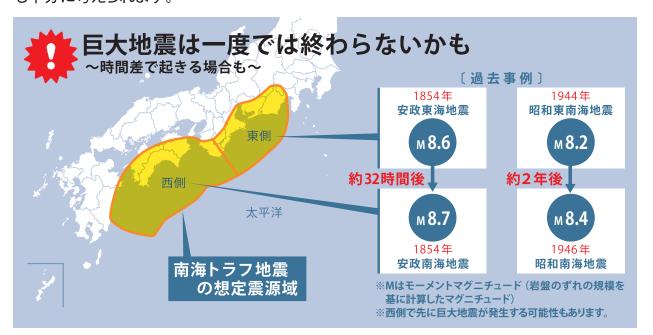
南海トラフ地震は、 駿河湾から日向灘沖 にかけてのプレート 境界を震源域とし て、過去に大きな被 害をもたらしてきた 巨大地震です。

南海トラフ地震の 発生によって、関東 から紀伊半島、四国、 九州にかけて極めて 広い範囲で被害が生 じる恐れがあります。



南海トラフ地震の特徴

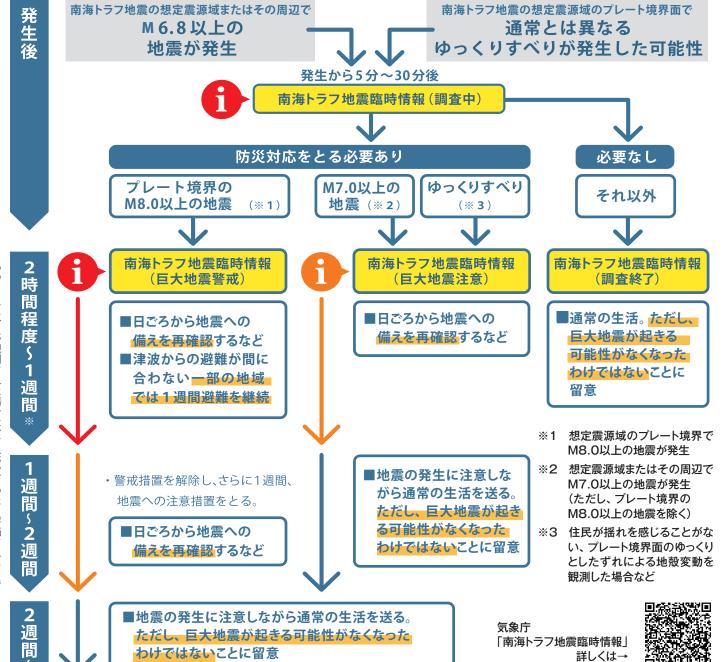
南海トラフ地震の発生形態は多様で、一度地震が起こった後に後発地震が起きること も十分に考えられます。



時間差で発生する巨大地震に備えましょう ~南海トラフ地震臨時情報~

- ○南海トラフ地震の発生可能性が通常と比べて相対的に高まったと評価された場合、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」 が発表されます。
- ○政府や県・市町からの呼びかけなどに応じた防災対応をとりましょう。
- ○南海トラフ地震臨時情報 (調査中) が発表された場合、避難中の方は後発の地震の発生に備えるとともに、それ以外の方 はできるだけ身の安全を守る行動を取ってください。

地震発生後の防災対応の流れ



問い合わせ先

防災対策部 災害対策課 📧 059-224-2189 🖾 059-224-2199

ただし、巨大地震が起きる可能性がなくなった

わけではないことに留意

「南海トラフ地震臨時情報」

気象庁 南海トラフ 臨時情報 |

県・市町の取り組み

○後発地震発生後では、津波からの避難が間に合わない恐れがある地域 (事 前避難対象地域)の方は、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)が発 表された場合、後発地震に備え、三重県内に比較的被害が生じていない 場合でも、1週間の避難を継続していただく必要があります。そのため、 現在、県・市町では、地域の指定について、検討を進めています。

| | 南海トラフ地震防災対策推進地域(三重県内全域) | | |
|-------------------|--------------------------------|-----------------------|-----------------------|
| | | 事前避難対象地域 | |
| | | 高齢者等事前 避難対象地域 | 住民事前 避難対象地域 |
| 最初の地震発生 から1週間 | 社会状況を踏まえて 日ごろから地震への備えを再確認など | 要配慮者のみ避難 | 全住民が避難 |
| 地震発生後 1週間から2週間 | 日ごろから地震への備えを再確認など | 日ごろから地震への 備えを再確認など | 日ごろから地震への 備えを再確認など |
| 地震発生後 2週間以降 | 通常の生活※ | 通常の生活※ | 通常の生活※ |

※巨大地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う

住民の方にとっていただきたい対応

日ごろからの地震への備え

○家具の固定、非常持ち出し品の準備、避難場所 や避難経路の確認などに加え、新型コロナウイ ルス感染症の感染防止対策も念頭に、日ごろか ら地震への備えをお願いします。

南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒) が発表された場合

- ○最初の地震発生後、三重県に緊急地震速報や大 津波警報および津波警報が発表されます。当該 津波予報区にお住まいの方は、指定緊急避難場 所へ避難をお願いします。
- ○政府や県・市町からの呼び掛けに応じて、事前避 難対象地域内にお住まいの方は、1週間の避難 を継続する、日ごろから地震への備えを再確認 するなどの対応をお願いします。

企業などにとっていただきたい対応

防災対応の検討

- ○南海トラフ地震の発生に備えて、BCP(事業継続計画) の確認や防災対応の前提となる諸条件(従業員の居住 状況など)を確認したうえで
- ①必要な事業を継続させるための措置(事業継続・中止の判断)
- ②日ごろから地震への備えの再確認
- ③従業員などの安全確保
- 4施設および設備などの点検
- ⑤個々の状況に応じて実施すべき措置(避難ビルとしての活用など)
- ⑥南海トラフ地震臨時情報などの伝達
- (7) 南海トラフ地震臨時情報に基づく防災対応実施要員の確保など
- ⑧企業などの防災に関する計画などへの反映
- などの検討をお願いします。



「防災みえ.JP」 ホームページ

災害時の被害状況をいち早く提供、 気象情報や被害情報、避難情報など を確認することができます。



http://www.bosaimie.jp



Twitter「防災みえ」

気象情報・地震に関する情報などを • 配信します。



https://twitter.com/bosaimie アカウント:防災みえ (@bosaimie)



YAHOO!

Yahoo!防災速報

「自治体からの緊急情報」として 防災情報などを配信します。





LINE

避難の呼びかけや防災情報などを

Mail 配信サービス

登録方法

LINE「防災みえ」



配信します。

気象情報・地震に関する情報など

を携帯電話・スマホ・パソコンにメール



配信します。

友だち登録用ID:@bosaimie

a@bosaimie.jp ヘ空メールを送信

問い合わせ先 防災対策部 災害対策課

© 059-224-2157

FAX 059-224-2199



地域を守る消防団



消防団は、地域防災力の中核として地域の安心・安全を守るとともに、日ごろから地域コミュニティー の維持および活性化にも大きな役割を果たしています。

災害が発生した際には、昼夜を問わず現場に駆け付け、消火活動や倒壊家屋からの救助活動、土 のう積みや警戒活動、安否確認・避難誘導などを行っています。近年は全国各地で大規模な地震や風 水害による被害が発生しており、南海トラフ地震などの発生が危惧される中、消防団には多様化する 役割への対応など、地域住民から大きな期待が寄せられています。

また、消防団には、会社員、自営業、主婦(夫)、学生など、年齢や性別、職業を問わずいろいろな方 が参加しており、特に県内の多くの消防団で、女性消防団員が火災予防や応急手当の普及啓発など、さ まざまな場面で活躍しています。

地域を知るあなただからこそできることがたくさんあります。自分のまちを、みんなのまちを、一緒 に守りましょう。

詳しくは、居住地あるいは勤務場所のある市役所や町役場、最寄りの消防本部までお問い合わせください。

問い合わせ先 防災対策部 消防・保安課

11. 059-224-2108 **FAX** 059-224-3350